

# 都市再生整備計画 モニタリングシート

## 三保半島地区

平成24年3月  
静岡県静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	三保半島地区		面積	450ha		
交付期間	平成21～25年度		事後評価実施予定時期	平成25年度	モニタリング実施時期	平成23年8月		交付対象事業費	3,083.3百万円	国費率	0.4	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	【道路】(都)羽衣海岸線 【公園】三保羽衣公園、三保宮方公園、羽衣公園 【下水道】折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業 【地域生活基盤施設】羽衣海岸緑地整備事業、4力国語情報案内板整備 【土地区画整理事業】三保羽衣土地区画整理事業				事業進捗の状況(順調か、遅れているか)					
		提案事業	【地域創造支援事業】折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業、三保半島まちづくり活動推進事業				順調に進捗している。					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	-				-		-			
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】(都)塚間羽衣線		土地区画整理事業の進捗に伴い道路整備が必要になったため追加		-		影響なし			
		提案事業	-				-		-			
交付期間の変更	当初	平成 21～ 25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	-		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	モニタリング	目標	総合所見		今後の対応方針			
			基準年度	目標年度	計測年度	達成見込み						
	指標1	観光交流客数	人	908,095	H19	910,000 (変更予定)	H25	858,864	H22	あり ● なし	今年度の観光交流客数は、前年とほぼ同程度で推移すると予想されるが、従前値と比較すると、約5万人の減少であり、近年の減少傾向を鑑みると、指標の改善に寄与する事業の実施が困難になったことから、目標の達成は難しい状況にある。	目標値の修正を行うとともに、集約的ソフト事業の強化を図り、観光交流客数の維持と増加を目指す。
	指標2	地域資源の活用に関する住民の認識	%	19	H20	29	H25	21.5	H23	あり ● なし	指標の改善へ寄与する事業の進捗が遅れており、モニタリングでは指標の改善は少なかったが、事業実施に対する住民の期待度は高いため、今後事業が進捗する事により、数値の改善を期待出来る。	事業進捗の向上を図るとともに、住民参加のワークショップを実施し、羽衣地区の公園整備に関する基本構想を策定することにより、住民の地域資源へ対する意識向上を図り、目標達成を目指す。
指標3	生活環境に関する満足度	%	12	H20	22 (変更予定)	H25	12.6	H23	あり ● なし ●	指標の改善に寄与する事業の進捗が遅れていることから、目標の達成は難しい状況にある。 また、東日本大震災により、生活環境に対する不安感が高まり、指標改善に影響した。	東日本大震災の影響や計画期間内において生活基盤整備に係る事業の完了が困難であることから、指標の大幅な改善は見込まれないため、目標値の下方修正を行う。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	モニタリング	目標	総合所見		今後の対応方針			
			基準年度	目標年度	計測年度	達成見込み						
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年に三保半島まちづくり協議会を発足し、三保半島のまちづくりに対して、住民の意見を反映や、まちづくりに対する住民の積極的な参加へ繋がった。</li> <li>市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	平成23年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● ●			
	住民参加プロセス	平成21年度 三保半島まちづくり協議会(継続的に実施)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● ●			
持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● ●				
6)モニタリングの所見	総合所見	順調					今後の事業の改善点		ソフト事業の拡充 ・観光交流客数増加の促進に繋がるよう、まちづくり活動支援事業等のソフト施策を強化拡充する。 事業構成の見直し ・計画期間内に完成が困難な事業について、整備計画の見直し、検討を行う必要がある。 ・計画期間内に実施可能な事業の検討を行う。 指標目標値の見直し ・計画通りに進んでいない事業があるため、事業進捗状況に合わせた目標値の見直しを行う。			
	要改善	●	実施事業の変更や遅れがあり、事業構成の見直しや、指標の目標値を変更する必要がある。									

# 都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (6) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他(計画区域)		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	(都)羽衣海岸線	894	W=12m、L=1,500m	894.0	W=12m、L=1,500m	なし	—		●		事業完了に向けて事業推進
	(都)塚間羽衣線	—	—	48.5	W=20m、L=60m	平成22年3月に計画変更して追加	生活環境に対する満足度に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●		事業完了に向けて事業推進
公園	三保羽衣公園	106	A=5,000㎡	106	A=5,000㎡	なし	—	●			
	三保宮方公園	33	A=1,500㎡	33	A=1,500㎡	なし	—	●			H24年度には着手可能
	羽衣公園	166	A=3,000㎡	166	A=3,000㎡	なし	—	●			
河川											
下水道	折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業	876	L=999m	876	L=999m	なし	—		●		事業完了に向け事業推進
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	羽衣海岸緑地整備事業	67.5	L=880m	68	L=880m	なし	—		●		事業完了に向け事業推進
	4カ国語情報案内板整備	4.0	1箇所	4.0	1箇所	なし	—			●	計画通りに完成
高質空間形成施設											
市街地再開発事業											
優良建築物等整備事業											
土地区画整理事業(都市再生)	三保羽衣土地区画整理事業	826.5	A=20.8ha	826.5	A=20.8ha	なし	—		●		
住宅市街地総合整備事業											

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

**基幹事業**

事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地区再開発事業											
バリアフリー環境整備事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと







添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	従前値	基準年度	目標年度	実施年度	あり	なし				
指標1	人	毎年実施している、観光交流客数調査のデータをモニタリング値とする。	990,308	H12	908,095	H19	910,000 (変更予定)	H25	858,864	H22	●	●	今年度の観光交流客数は、前年とほぼ同程度で推移すると予想されるが、従前値と比較すると、約5万人の減少であり、近年の減少傾向を鑑みると、指標の改善に寄与する事業の実施が困難になったことから、目標の達成は難しい状況にある。	目標値の修正を行うとともに、集客的ソフト事業の強化を図り、観光交流客数の維持と増加を目指す。
指標2	%	平成23年度7月に三保・折戸・駒越地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「三保半島は歴史・文化・自然・産業などの地域資源を活かしている」と感じている回答割合をモニタリング値とする。	—	—	19	H20	29	H25	21.5	H23	●	●	指標の改善へ寄与する事業の進捗が遅れており、モニタリングでは指標の改善は少なかったが、事業実施に対する住民の期待度は高いため、今後事業が進捗する事により、数値の改善を期待出来る。	事業進捗の向上を図るとともに、住民参加のワークショップを実施し、羽衣地区の公園整備に関する基本構想を策定することにより、住民の地域資源へ対する意識向上を図り、目標達成を目指す。
指標3	%	平成23年度7月に三保・折戸・駒越地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「三保半島は、都市基盤が整備され、誰もが安心して快適に生活できる」と感じている回答割合をモニタリング値とする。	—	—	12	H20	22 (変更予定)	H25	12.6	H23	●	●	指標の改善に寄与する事業の進捗が遅れていることから、目標の達成は難しい状況にある。また、東日本大震災により、生活環境に対する不安感が高まり、指標改善に影響した。	東日本大震災の影響や計画期間内において生活基盤整備に係る事業の完了が困難であることから、指標の大幅な改善は見込まれないため、目標値の下方修正を行う。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	従前値	基準年度	目標年度	実施年度					
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・平成21年に三保半島まちづくり協議会を発足し、三保半島のまちづくりに対して、住民の意見を反映や、まちづくりに対する住民の積極的な参加へ繋がった。
- ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による検討	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成23年度 【実施結果】 都市再生整備計画及び個別の各自業の進捗状況の把握 市民アンケート調査の実施 目標値の見直しによる計画変更に向けた対応の検討	・モニタリングの実施結果をもとに、目標値を下方修正するため、第2回計画変更に向けて調整を行う。 (予定)
	予定はなかったが実施した		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
三保半島まちづくり協議会	予定どおり実施した	● 【実施頻度】年2回 【実施時期】平成21年度 【実施結果】 三保半島のまちづくりに関して、住民と市との意見交換を行った。活動を継続的に実施している。	協議会の実施結果を住民への周知徹底を図り、住民のまちづくりに対する意識向上を図る。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
	モニタリング時点では実施していない		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築	予定どおり実施した	—	—	三保半島まちづくり協議会の活動を、都市再生整備計画の期間終了後にも継続的な活動が出来る体制の構築が必要となる。
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	部会長:都市計画部長 部会員:経営企画部長、危機管理部長、財政部長、市民生活部長、文化スポーツ部長、環境創造部長、福祉部長、子ども青少年部長、商工部長、建築部長、土木部長、道路部長、消防部長、下水道部長、教育部長	第1回:平成23年8月30日 第2回:平成23年10月13日	都市局 都市計画部 都市計画課
三保半島地区(三保羽衣・折戸地区)地区部会(上記推進本部の下部組織)	部会長:市街地整備課長 部会員:経営企画課長、生涯学習推進課長、文化財課長、高齢者福祉課長、子育て支援課長、観光・シティプロモーション課長、農林総務課長、都市計画課長、緑地政策課長、公園整備課長、道路計画課長、道路保全課長、道路整備第3課長、下水道計画課長、下水道建設課長	第1回:平成23年8月10日 第2回:平成23年8月24日 第3回:平成23年9月30日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

現行計画		指標の種類	指標1	指標2	指標3
		指標名	観光交流客数	地域資源の活用に関する住民の意識	生活環境に対する満足度
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路:(都)羽衣海岸線	—	今年度の観光交流客数は、前年とほぼ同程度で推移すると予想されるが、従前値と比較すると、約5万人の減少であり、近年の減少傾向を鑑みると、指標の改善に寄与する事業の実施が困難になったことから、目標の達成は難しい状況にある。	—	指標の改善へ寄与する事業の進捗が遅れており、モニタリングでは指標の改善は少なかったが、事業実施に対する住民の期待度は高いため、今後事業が進捗する事により、数値の改善を期待出来る。
	道路:(都)塚間羽衣線	—			
	公園:三保羽衣公園	—			
	公園:三保宮方公園	—			
	公園:羽衣公園	—			
	下水道:折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業	—			
	地域生活基盤施設:羽衣海岸緑地整備事業	—			
	地域生活基盤施設:4カ国語情報案内板整備	◎			
土地区画整理事業:三保羽衣土地区画整理事業	—	◎	—	◎	
提案事業	地域創造支援事業:折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業	—	—	—	—
	地域創造支援事業:三保まちづくり活動支援事業	○	—	○	—
関連事業	土地区画整理事業(三保羽衣地区)	—	—	—	—
	名勝「三保松原」緑化推進事業	—	—	—	—
	太平洋岸自転車道	—	—	—	—
	観光複合施設アクセス線	—	—	—	—
	観光トイレ改修事業	—	—	—	—
	真崎地区観光複合施設整備事業	—	—	—	—

※指標改善への貢献度

- ◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
  - :事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
  - △:完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
  - ×:事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
  - :評価できない。
- 〔未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない〕

今後の方針等	目標値の修正を行うとともに、集客的ソフト事業の強化を図り、観光交流客数の維持と増加を目指す。	事業進捗の向上を図るとともに、住民参加のワークショップを実施し、羽衣地区の公園整備に関する基本構想を策定することにより、住民の地域資源に対する意識向上を図り、目標達成を目指す。	計画期間内において生活基盤整備に係る事業の完了が困難であることから、指標の大幅な改善は見込まれないため、目標値の下方修正を行う。

#### (4) モニタリングの所見

##### 添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
土地区画整理事業を中心とした道路・公園・下水道等の公共施設の整備と高質空間の整備	第1期計画から継続して、土地区画整理事業を中心に、道路、公園、下水道等の基盤整備事業を推進している。	実施中の事業を推進するとともに、事業構成の見直しを行った計画に基づき、事業の早期着手、完成を目指す。	平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり、アンケート調査において、震災(津波)対策に関する要望が多く挙げられていることから、震災対策に関する事業を検討する必要がある。
土地区画整理事業を含めた半島全体の道路ネットワークの形成と、脆弱な観光道路の整備、安全な歩行者空間と自転車道ネットワークの整備			
東海地震に備えた避難路・避難地の確保と住宅耐震化の促進			
地域資源の育成・活用とブランド化の推進	—	追加事業を含め、事業を推進することにより、課題の改善を目指す。	
多様なニーズに対応する交通ネットワークの形成による回遊性の向上	第1期計画から継続して、土地区画整理事業や道路整備事業等により交通ネットワークの形成を図っている。	交通ネットワークの形成に向け、継続的に事業を実施する。	
地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)	・年2回まちづくり協議会と、市が意見交換を行っている。 ・三保半島まちづくり推進事業計画を策定した。	まちづくり協議会の活動内容の住民への周知をするとともに、ソフト事業を実施し、住民のまちづくりに対する意識向上を図る。	

##### 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点	
		具体的項目	内容
順調	●	事業の進め方の工夫 ソフト事業の拡充	観光交流客数増加の促進に繋がるよう、まちづくり活動支援事業等のソフト施策を強化拡充する。
計画・事業の進め方の改善が必要			<ul style="list-style-type: none"> <li>計画期間内の実施及び完了が困難な事業について、整備計画の見直しを行う。 【削除予定事業】羽衣公園、三保羽衣公園、折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業(提案事業)、真崎地区観光複合施設整備事業、観光複合施設アクセス線、太平洋岸自転車道(真崎)</li> <li>【事業内容変更予定事業】折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業(基幹事業)、(都)羽衣海岸線、太平洋岸自転車道(案内看板設置)</li> <li>計画期間内に実施可能な事業の追加を行う。 【追加予定事業】羽衣公園整備基本計画策定事業、真崎広場整備事業</li> </ul>
実施事業の変更や遅れがあり、事業構成の見直しや、指標の目標値を変更する必要がある。	都市再生整備計画の見直しの必要性	事業構成の見直し	事業構成の変更及び事業進捗状況に合わせた目標値の見直しを行う。
		指標目標値の見直し	

## (5) モニタリング原案の公表

### 添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成23年10月20日～11月18日	平成23年10月20日～11月18日	郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所都市計画課または各区役所窓口へ直接持参	都市局 都市計画部 都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成23年10月1日発刊 広報10月1日号	平成23年10月20日～11月18日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口及び各区庁舎市政情報コーナーにおける閲覧	平成23年10月20日～11月18日	平成23年10月20日～11月18日		

住民の意見	<p>・久能街道が整備され、また、より計画が進んでいる。目にもあざやかマリブルーの海を横手に、駒越を抜けて、三保街道に入る。愛しい郷里・三保に行来していつも思うこと「遠く、近く望む富士をもっとたたえたい！」この素晴らしい街道は、あまりにゴミとみにくい。市内の名勝「三保の松原」へ導く主要道路は、大きすぎる看板や電線が絡み合っている。視界をすっきり、こち良い景色で「三保へようこそ」と迎え入れたいものです。</p> <p>もうすでに”神の道”で結ばれた松原と美穂神社。富士山を鬼門にすえ、富士山は日光東照宮を鬼門にすえて神が創造されたかの様な三保半島です。まさにパワースポットと言えらると思います。三保街道周辺の整備をお願い致します。</p> <p>・羽衣神道の整備は、三保まちづくり協議会の「神道ワークショップ」を踏まえ、当局の御努力もいただき、すばらしい羽衣神道が整備され、多くの方々が訪れています。同様に、三保まちづくり協議会で検討し策定された、三保真崎地区整備基本構想の中で、「真崎地区観光複合施設」については、今回の中間評価の中で、計画から除かれ大変残念であります。ここに至った原因を分析し、どの様に対応していくのかを明らかにし、次期計画の実施事業に盛り込まれ、早期に整備される事を要望します。</p>
-------	---

## (6) 有識者からの意見聴取

### 添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
日詰一幸(静岡大学人文学部法学科教授) 室田昌子(東京都市大学環境情報学部環境情報学 科准教授) 石上義之(技術士)	平成23年12月1日	都市局 都市計画部 都市計画課

有識者の意見	<p>「平成23年度静岡市都市再生整備計画事業評価委員会」にて意見聴取を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・震災に関する事業を検討する必要があると認識されているが、具体的に検討しているのか。</li><li>・ソフト事業の拡充により、イベントを開催すれば、瞬間的に観光交流客数は増加するが、継続的に増える様なソフト事業を考えていただきたい。</li></ul> <p>対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>→住民から要望等も出ているが、現在、静岡市では、防災・都市防災に関する計画書を作成しており、その中で、避難路や避難地について検討している。</li><li>→各事業課と調整を図り、継続的に観光交流客数が増えるような、ソフト事業を検討していく。</li></ul>
--------	--